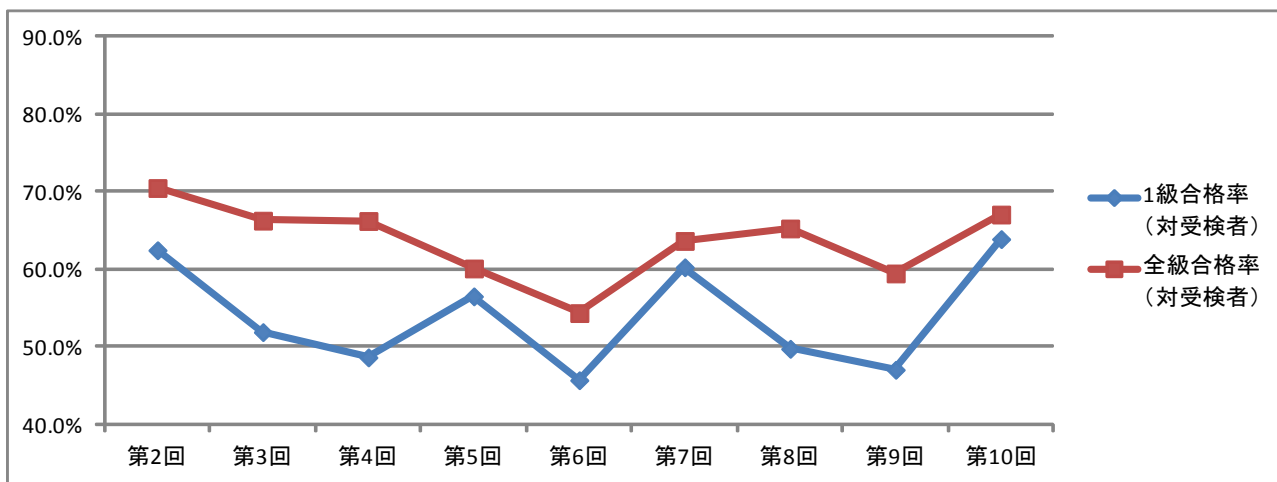


1 級

【3】1 級の傾向とアドバイス

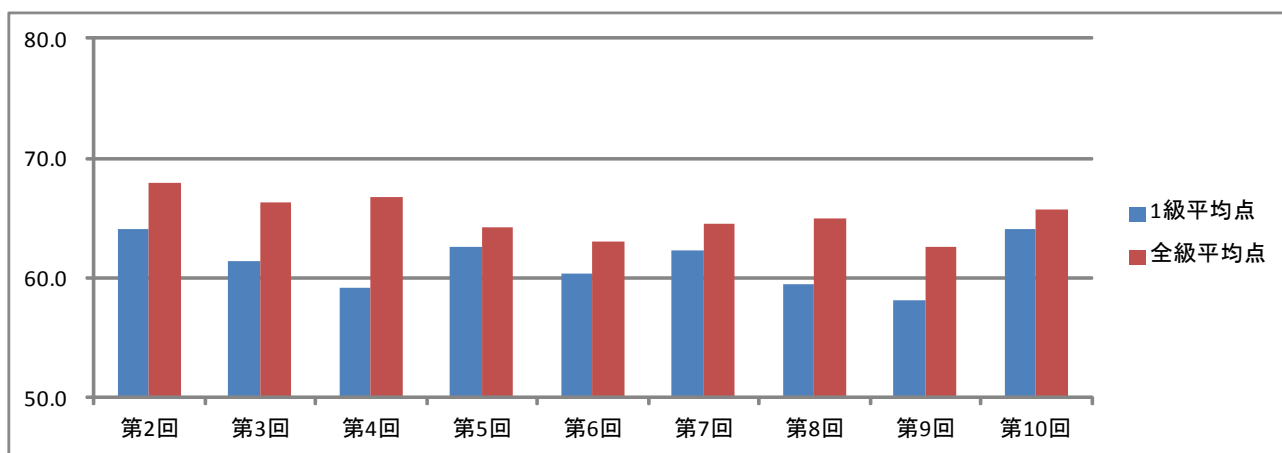
1 級はその名のとおりに、生産マイスター検定の最高クラスであり、主な対象者は管理者層です。そのため、例年合格率、平均点ともに 2 級～ベーシック級よりも低く、高い難易度になっていました。しかしながら、第 10 回は、前記のとおり第 9 回の本書を参考に学習されたことがうかがえ、合格率は第 8 回 49.8%、第 9 回 47.1% ⇒ 第 10 回 63.9%と飛躍的な伸びとなっています。第 10 回が残念な

● 1 級の合格率<未認定者含む、第 1 回は 1 級と 2 級未実施>



1級	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
申込者数	24	77	124	150	252	161	216	160	257
受検者数	24	77	115	145	247	156	205	155	244
合格者数	15	40	56	82	113	94	102	73	156
合格率 (対受検者)	62.5%	51.9%	48.7%	56.6%	45.7%	60.3%	49.8%	47.1%	63.9%

● 1 級の平均点<第 1 回は 1 級と 2 級未実施>



	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
1級平均点	64.0	61.4	59.1	62.6	60.3	62.3	59.5	58.1	64.0
全級平均点	67.9	66.3	66.8	64.2	63.0	64.5	65.0	62.6	65.7

● 1 級の主な出題内容

単位	出題内容(章、節)
<第1単位テキスト> ■役割 (計21節)	●第1章 管理者の位置づけと役割 ～ 第6章 管理者に求められる行動 ・企業経営の三次元構造、企業業績と経営力 ・経営資産の蓄積度 ・組織と機能分担構造、組織とコミュニケーションネットワーク、組織の責任と権限の枠組み ・日本における経営行動の考え方 ・経営責任者として求められていること、管理者の役割と行動
<第2単位テキスト> ■コスト (計15節)	●第1章 原価管理の構造 ～ 第4章 生産段階のコストリダクション ・工場業績と原価管理、コストマネジメントの構造 ・標準原価計算システムと標準原価計算の概要、予算とその経営経営的機能 ・設計変更ロスとコスト面から見た設計部門の特性、設計段階におけるコストマネジメント ・工数削減と効果
<第3単位テキスト> ■品質 (計19節)	●第1章 経営と品質 ～ 第4章 品質保証の実現と高度化 ・経営課題としての品質管理、品質計画と設計、品質ビジョンと品質戦略 ・工場における品質保証の基本、工程能力、管理図と工程管理 ・働く人と小集団活動 ・標準化と規格化 ・品質リスクマネジメント
<第4単位テキスト> ■納期・生産管理 (計9節)	●第1章 生産管理の目的と役割 ～ 第3章 サプライチェーンマネジメント(SCM)と今後の課題 ・生産管理の目的と概要、生産管理とキャッシュフロー ・販売計画と受注管理、在庫計画 ・サプライチェーン・マネジメント(SCM)の意義と対象範囲、SCM・生産管理の今後の課題
<第4単位テキスト> ■安全・環境 (計6節)	●第4章 労働安全衛生マネジメントと安全文化の醸成 ～ 第5章 環境マネジメントシステムの有効活用 ・安全活動の活性化、労働安全衛生マネジメントシステムの構築、安全文化の醸成 ・環境と経営(QCD改善)の両立、環境マネジメントシステムを有効に活用する方法、環境と経営の両立に役立つツール

①出題の意図

・全体を網羅することが必要

生産マイスター1級の通信教育テキストは第1単位～第4単位までの計4冊、計19章、そして計70節の構成になっており、第10回の検定では、そのうちの約半分の37節分から出題されています。

しかし、残りの33節も直接出題された37節と密接に絡んでいますので、ヤマをかけたりにして学習をおろそかにしてはいけません。まずは全70節を第1単位テキストから順番に学習してください。そのうえで、ポイントを絞ったり、弱点分野を集中的に学習し、真の生産マイスターになっていただきたいと思います。

・各分野からほぼ均等に出題

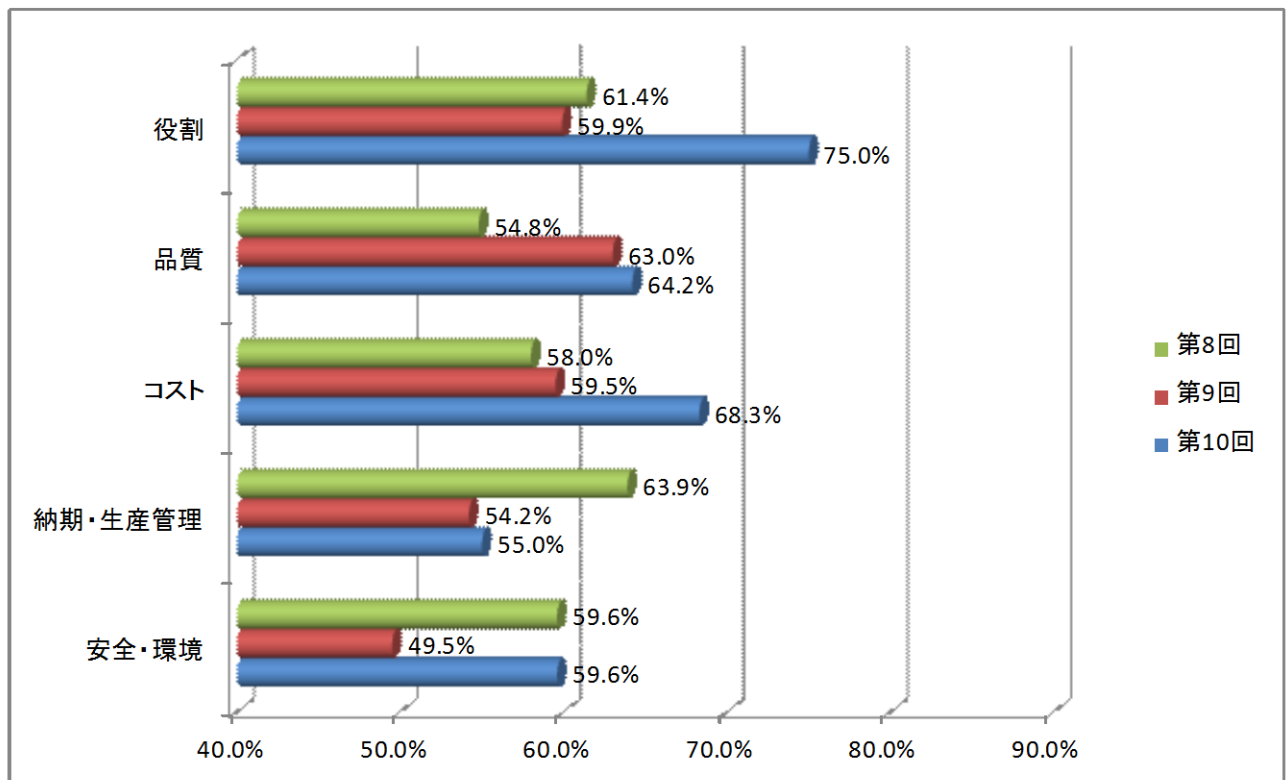
生産マイスターの検定項目（シラバス）は「役割、品質、コスト、納期・生産管理、安全・環境」の5分野であり、「ものづくりのプロ」として必須の総合的な知識を証明する「生産部門の必須資格」です。そのため、分野ごとの軽重をあまりつけず、この5分野からできるだけ均等になるような問題数になっています。第10回の1級では、「コスト」と「納期・生産管理」が少し多くなっていますが、それでも特定の分野に大きく偏らない構成になっています。もちろん、このことは1級だけでなく、2級～ベーシック級にも共通していえることです。

なお、多肢選択、語群選択、計算問題、ミニケース問題のように、問題形式や問題内容の難易度によって配点は当然異なっています。例年まったく同じではありませんが、皆さんの参考になるのではないかと思います。

分野	問題数	配点
■ 役割	9	11
■ 品質	9	14
■ コスト	14	37
■ 納期・生産管理	11	25
■ 安全・環境	7	13
計	50	100

②結果から見てきた弱点

・分野別得点率



・得点率が低い項目

分野	弱点項目
■役割	●得点率 75.0% ※弱点項目は、特になし
■品質	●得点率 64.2% ・工程能力の厳密な意味 ・管理図の見方(異常状態判定の着眼点)
■コスト	●得点率 68.3% ・設計変更にもなう埋没コストの計算
■納期・生産管理	●得点率 55.0% ・生産管理の機能と組織 ・キャッシュコンバージョンサイクルの計算 $\text{売上債権回転日数は } \frac{\text{売上債権額}}{\text{売上高}} \times 365\text{日}$ $\text{棚卸資産回転日数は } \frac{\text{棚卸資産額上}}{\text{売上原価}} \times 365\text{日}$ $\text{仕入債務回転日数は } \frac{\text{平均仕入債務額}}{\text{売上原価}} \times 365\text{日}$ (キャッシュコンバージョンサイクルは、売上債権回転日数+棚卸資産回転日数-仕入債務回転日数) ・販売計画の立案、需要予測の手順、販売計画の誤差 ・SCM・生産管理の今後の課題
■安全・環境	●得点率 59.6% ・安全管理の効果的な進め方 ・安全文化の醸成 ・環境と経営の両立

・第10回は、「納期・生産管理」、「安全・環境」が弱点！

例年、「コスト」、「納期・生産管理」の分野に弱点が多く見られましたが、第10回は高い合格率と連動するかのよう、「コスト」が良くなっています。

しかし、残念ながら、管理者である皆さんにとって必須の知識であるはずのキャッシュコンバージョンサイクル(納期・生産管理)は、例年と変わらず弱点項目となっています。「材料購入 ⇒ 人を雇い生産する ⇒ 顧客へ販売」、すなわち「材料購入や給与といったキャッシュの支払い」、「回収されるまでは、在庫や売掛金として資金が寝た状態」を正確に理解しなければ、売上金の回収を早めたり、在庫削減、リードタイムの短縮などにも適切に対処することが難しく、企業競争力を高めることにはつながりません。

また、最後の学習分野である「安全・環境」も、例年どおりあまり良くありません。「安全・環境」もきちんと習得することが、真の生産マイスターにとって必要です。必ず、前の表を参考にして、もし自分の苦手な項目があれば、バイブルであるテキストを熟読し、理解を深めてください。